

第2回SJAC会員企業部隊見学 (航空自衛隊百里基地)

令和6年2月16日、SJAC会員企業による今年度第2回目の航空自衛隊百里基地見学を実施したので、その概要を報告する。

1. 概要

日本航空宇宙工業会（SJAC）は今年度より会員企業と一線部隊との意思疎通・相互理解を深める施策として部隊研修の取り組みを始めた。参加募集を行ったところ、正会員企業85社中36社54名の皆様から希望があったことから、今年度は2回に分けて研修を実施することとし、第1回目を昨年9月15日に実施、第2回目は賛助会員企業にも募集案内をして20社35名の参加があった。

2. 見学スケジュール

次に示すスケジュールで見学を実施した。
(基地内も含め、チャーターバスにて移動)

- 10：30 JR石岡駅出発
- 11：10 百里基地正門到着後、広報資料館に移動
- 11：15～11：30 参加者での名刺交換、自己紹介
- 11：30～12：10 基地概要説明受け、展示品見学後、食堂に移動
- 12：15～13：00 体験喫食
- 13：05～13：35 エンジン小隊見学
- 13：40～14：05 武器小隊見学
- 14：10～14：40 戦闘機見学（第3飛行隊）
- 14：45～15：25 救難機見学（百里救難隊）
- 15：30～15：55 売店にて買い物
- 16：30 JR石岡駅到着、解散

3. 参加企業（20社、順不同）

- 沖電気工業（株）
- (株) IHI
- 東芝電波プロダクツ（株）
- (株) ジャムコ
- 大同特殊鋼（株）
- (株) SUBARU
- (株) 寺内製作所
- メイラ（株）
- 多摩川精機販売（株）
- 東京計器（株）
- 森村商事（株）
- (株) 吉光工業
- 兼松エアロスペース(株)
- 新東亜交易（株）
- 富士フィルター工業（株）
- 双日エアロスペース（株）
- ミネベアミツミ（株）
- (株) エヴァアビエーション
- 原田精機（株）
- 日本エヤークラフトサプライ（株）

4. 部隊見学

(1) 広報資料館

広報資料館にて百里基地の概要説明のプレゼンを受けたのち、展示されている資料やF-4EJ戦闘機の操縦席などを見学した。また、偵察任務に従事していた偵察航空隊の歴史にも触れることができた。



(2) 体験喫食

体力を使う隊員向けのボリュームある食事で、主菜の空揚げ（空自各基地で味付けが異なる名物の唐揚げ）も美味しくいただいた。

献立：さっぱり梅唐揚げ、ひじきと豆腐とビーンズのサラダ、本しめじ水菜汁、ご飯

(3) エンジン小隊

F110エンジンの前で説明を受けた後、同エ

ンジンは細部まで部隊での分解整備が必要であることや、エンジン整備の課題などについて伺った。

(4) 武器小隊

F-2搭載用の空対空ミサイル、空対艦ミサイル、空対地ミサイルおよび機関砲の訓練弾などが説明用パネルとともに展示してあり、説明の後、自由に触らせていただいた。



F-2戦闘機見学

(5) 第3飛行隊

F-2の説明受け後、操縦席を含め、機体に接近してじっくり観察できた。また、飛行訓練で発進する様子も見学することができた。

(6) 百里救難隊

2グループに分かれ、エプロン地区では、

U-125A救難捜索機とUH-60J救難ヘリの機能・特徴について説明いただき、格納庫では救難隊の任務内容や装備品について説明いただいた。



救難隊の任務、装備品説明



U-125A救難捜索機見学



UH-60J救難ヘリ見学

5. 参加者アンケート

今回も参加者の皆様より、基地研修に参加した感想、要改善点や要望事項、今回参加できなかった会社および今後SJACへの入会を考えている会社へ一言、というテーマでアン

ケートの回答を頂いたので、要改善点については来年度以降の研修に確実に反映するとともに基地側とも共有する。(代表的なアンケート結果を末尾に紹介する)



格納庫内での集合写真

6. 所感

参加者は、隊員の方々のお話から、強い使命感を持ってエンジン、搭載武器、機体の整備、及び運用の各分野で任務に当たっているのかを伺い知ることができたことと思う。また、装備品の製造・整備に関わる企業の社員の方々が、ユーザーの声を生で聞く機会としてこのような見学会は非常に有意義であると改めて実感した。また、戦闘機及び救難機

の見学を通じて、我が国の領空を守るという仕事についても理解が深まったものと感じている。

最後に、会員企業研修を快く受け入れて頂いた百里基地広報班の皆様と、任務・訓練でご多忙の中、各装備品の展示およびご説明をして頂いた隊員の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

【基地研修参加者アンケート結果】

①基地研修に参加した感想
実際の機体や装備等を間近に見ることができ、非常に勉強になりました。エンジンの内部等も丁寧に御説明頂き、より鮮明に弊社の部品が使用されている箇所の理解が深まりました。
普段目にすることができない機体、エンジン、ミサイルを間近に見ることができ、また、隊員の方の丁寧な説明により、知識と興味を深めることができました。
普段業務で耳にする装備品や機体が運用されている現場を実際に見られたことで、防衛の一翼を担っていることを強くイメージすることができました。また、部隊の皆様が手順書などを補足し、整備、運用にあたられていること、そうして整備された機体で日々任務が行われていること、救難隊の皆様との連携など、直接お話を聞くことができ、チーム一丸となって任務にあたられていることを肌で感じ取ることができました。このような機会をアレンジしていただいたこと、部隊の皆様のご対応に感謝いたします。
基地の方々が任務を安心して行えるよう、私たちが提供しているエンジンを安心して使っていただくためにも、日ごろの業務の中で弊社従業員に伝えていく重要性を感じました。
普段は見学することができない重要な場所についても見ることができ、大変参考になりました。
防衛装備品製造会社の一員であるものの、今回が初めての基地研修の機会でした。なかなか現地へ足を運ぶ機会がないため、実機を目の前で拝見できたことは良い経験、勉強となりました。部隊喫食の昼食は、ボリュームがあり大変驚きました。
私自身は初めての自衛隊基地研修でした。普段見ることのできない航空機等を近くで見ることができ、とても貴重な経験になりました。また、百里基地隊員の任務や活動についてご説明頂き、自衛隊への理解がより深まりました。自衛隊員の方々の説明がとても丁寧で、こちらの質問にも快くお答えいただき、とても勉強になりました。
F-2や救難機、救難ヘリ、空対空誘導弾などの実物を詳しい説明とともに見ることができ、とても貴重な経験をさせて頂きました。また、自由に見学する時間を設けて頂き、自衛隊員の方々も都度質問に対応して下さったので、興味が尽きませんでした。普段の業務で関わっている商品が最終的にどのようになり使用されているかを知ることができ、国の防衛・救難活動に携わっていると身の引き締まる思いがしました。この経験を活かし、今後も自分の業務に励んでいきたいと思えます。

<p>まず、現場や現物をみて、隊員の方々と話し合う機会を提供して頂きましてありがとうございます。大変、参考になり普段の業務が現場レベルでどう生きているのかを確認でき、さらに業務への意欲向上につながると思いました。</p>
<p>業務で航空機向け部品を取り扱っておりますが、実際に航空機に搭載され任務で活躍している姿を見ることができ大変勉強になりました。また、現場隊員の方に直接お話を聞くことができる機会が数多くあり、その士気の高さからこちらにもそれに応えたいという気持ちになりました。</p>
<p>エンジン、機体などを丁寧に案内・説明いただき大変勉強になりました。また、担当者様から最近の環境なども含めて説明頂いたので最新の情報が得られて良かったと思います。</p>
<p>時間がアツという間に経ってしまうほど全般的に充実したプログラムでした。防衛に関わる業務に携わっている者として、改めて空自の皆さまの日々の鍛錬に頭が下がる思いです。</p>
<p>航空自衛隊の部隊食から始まり、エンジン整備、武器、救難、戦闘機と全般にわたって体験させて頂き、大変感銘を受けました。自衛官の皆様が日本の空を守ってくれているという事が理解できたと共に、大変なお役目であることも分かりました。</p>
<p>弊社は輸入商社であり、空自様がどのような国産品を調達されているのか一般公開が難しいような実物を含めた形で拝見・拝聴でき、大変有意義でした。また移動バス内での解説(FOD点検、等)も有難く拝聴しておりました。</p>
<p>自社製品が実際に装備されているところを見ることができ、貴重な経験ができました。また、隊員の方々にご説明いただき、それぞれの機体や武器がどのような役割を担っているのか理解できました。貴重な時間を割いていただきまして大変感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>
<p>普段見ることのできない航空自衛隊の装備品の数々をすぐ側で見学することができ、大変勉強になったと同時に自分たちの業務が日本の防衛産業に貢献していることを改めて実感することができました。特にエンジンは弊社も部品の一部を製造していることもあり、日々作業している部品が実際に取り付けられているところを見ると感慨深いものがありました。</p>
<p>他の企業の方々との交流が出来た事、普段見ることが出来ない自分たちが製造している製品が搭載されている機体を見学出来た事がとてもいい経験になりました。機体見学では社内で製造している製品が搭載されている状況や、エンジンショップではオーバーホール中のエンジンを見ることができとても参考になりました。</p>
<p>弊社から自衛隊の各基地へ航空燃料の給油施設を納入している関係からこれまでも何度か基地を訪問した事はありましたが、使用している航空機(戦闘機)を至近距離から観察できたのは初めてであり、大変参考になりました。又、エンジン整備に関しても実際に部隊内で整備し、定期的にメーカーへ分解整備を依頼している事も大いに参考になりました。</p>
<p>実際に機体が動いている所を間近で見ることができ貴重な体験をすることができました。普段見られない機体や装備品の細部まで見学でき、今製造している部品などがこういった機体に搭載されているんだと実感できました。</p>

<p>自社製品や製作に関わった製品を見ることができたこと、また隊員の方々から直接お話が聞けたことで、大変有意義な研修会となりました。説明を受けている間でも、F-2の飛行訓練中は救難隊の方々が見守られているということを知り、緊張感を感じることができました。</p>
<p>エンジン整備のところでは実機エンジンを間近で拝見し、普段見えないエンジン内部まで見ることができ、感動しました。特に自社製品がエンジンに取り付けられているところを拝見できたのは学びの機会にもなりました。</p> <p>また、同業他社が製作した弊社類似部品も拝見でき、品質の違いを確認でき、貴重な体験ができました。</p> <p>昼食は隊員食堂で隊員の方と同じ食事をいただきました。カロリーを聞いてびっくりでしたが美味しく完食させてもらいました。</p>
<p>元々、航空及び防衛関係の業務経験が無いため参加して良いものか不安でしたが基地の概要説明、展示館、各工程の見学(整備、爆薬、F-2機体、救難関連)、食堂での喫食等と幅広い研修内容で大変有意義でした。自衛隊業務が幅広い事が把握でき、実物を見ながら隊員の方々と直接お話しする中で知識がない私でも丁寧に説明して頂いた事に感謝いたします。</p>

<p>②今回参加できなかった会社および今後SJACへの入会を考えている会社へひとこと</p>
<p>メーカーサイドとして、自社の製品が機体のどの部位にどの様に使用されているか分からない事が多いと思います。航空機は車と違い、日常生活の中で気軽に、且つ、間近に見ることができない為、このような機会が非常に重要だと感じました。チャンスがあれば、積極的に参加されることを推奨します。</p>
<p>貴重な体験になると思いますので、是非とも一度参加されることを勧めます。</p>
<p>ぜひとも、機会があったら逃さずに参加されてください。きっと視野が広がり業務に生かせます。</p>
<p>自社製品がどのように使用しているか、見る機会はなかなかありませんので、非常にいい機会だと思います。</p>
<p>普段では経験できないことが体験でき、実際のパイロットの方から航空機の説明を受けることができ大変有意義な研修でした。他の基地や、他の研修があればまた参加したいと思います。</p>
<p>SJACを通して、普段では経験できないような体験、情報、ネットワークを入手できますので、参加や入会を是非オススメ致します。</p>
<p>円滑で安定した進行のもと、大変有意義な研修に参加することができます。業務の一助となること間違いありません。ぜひ入会をご検討ください。</p>
<p>やはり現場で現品の状況を見るのはためになりますので参加をお勧め致します。</p>
<p>自社が製作している製品やサービスが、自衛隊の現場においてどのように取り入れられているかを生で確認できます。</p>
<p>我々がかかわっている仕事の最前線を実際に見ておく事は、大変勉強になると思います。</p>
<p>防衛事業を生業とされる全ての日本国籍の会社様へお勧めできる研修と思います。</p>

<p>日々の業務に固執すると周りが見えなくなることがありますが、今回のような外部研修に参加したことによって広い視野を持って業務を行えるようになりました。やはり間近で見る装備品の数々は迫力があり、防衛産業に身を置いていることに誇りを感じることができる瞬間でした。</p>
<p>仕事上でも個人的にも向上心を満足できる研修会であり是非参加を推奨いたします。</p>
<p>実際の機体や装備品を見ることで製造している製品の理解を深められると思います。</p>
<p>今回の研修会は実機や隊員の方々に触れる機会となりました。めったにない機会ですので、参加を検討されると良いと思います。</p>
<p>若手が実機を間近で見ることでモチベーションが高まると思います。基地に入ることもレアケースですのでこのような機会を活用させてもらいたいです。</p>
<p>百聞は一見に如かずという故人のお言葉があり、自国の自衛隊の実態を知るということは、装備品整備に関与している企業人であれば実態を自身の目で確認し理解をすることが極めて重要と考えます。</p>
<p>昨今は一般公開等も多く行われていると思いますが、例えば整備のエリアで実際の作業をさせて隊員の方に直接お話を聞く事とかは出来ないのかなと思っており、また我々が業務する上で気になる点を話すことで実際の現場の声(エンドユーザー)を聞けるのはとても有益だと思います。</p>

〔 (一社) 日本航空宇宙工業会 調査部 部長 宮澤 克彦
技術部 部長 原野 清隆 〕